

学校法人溝部学園
別府溝部学園短期大学
機関別評価結果

平成 27 年 3 月 12 日
一般財団法人短期大学基準協会

別府溝部学園短期大学の概要

設置者 学校法人 溝部学園
理事長 溝部 仁
学 長 溝部 仁
A L O 土井 敏行
開設年月日 昭和 39 年 4 月 1 日
所在地 大分県別府市亀川中央町 29-10

設置学科及び入学定員（募集停止を除く）

学科	専攻	入学定員
ライフデザイン総合学科		60
食物栄養学科		60
幼児教育学科		70
介護福祉学科		40
	合計	230

専攻科及び入学定員（募集停止を除く）

なし

通信教育及び入学定員（募集停止を除く）

なし

機関別評価結果

別府溝部学園短期大学は、本協会が定める短期大学評価基準を満たしていることから、平成 27 年 3 月 12 日付で適格と認める。

機関別評価結果の事由

1. 総評

平成 25 年 7 月 3 日付で当該短期大学からの申請を受け、本協会は第三者評価を行ったところであるが、評価の結果、当該短期大学は、自らの掲げる教育理念の実現及び教育目標の達成に向けて順調に進捗しており、本協会が定める短期大学評価基準を満たしていると判断した。

上記の判断に至った事由は、おおよそ次のとおりである。

当該短期大学は「自立・自活できる人材の育成」という建学の精神の下、教育理念の実現と教育目標の達成に努め、地域に貢献する高等教育機関の役割を果たしている。建学の精神は学生生活ハンドブックや行事を通して学内外に表明され、教育目標である溝部スピリッツ“Mizobe Spirits”（三活動・五心）と具体化して共有されている。2 年生を対象に年度末に建学の精神の理解度を調査し、結果を教育活動に生かしている。教育目的・目標は、建学の精神に基づいて定められ、学生生活ハンドブックやウェブサイトで表明している。学習成果は、建学の精神や専門教育科目の修得により取得できる資格として明示し、各学科の学習成果はファッションショー、お弁当コンテスト等の地域に向けた行事で発表されている。学習成果の指標である就職率は非常に高い水準を維持するとともに、毎年分析を行って教育課程の改善を図っている。教育の質保証のため、短期大学設置基準や関係法令は順守されている。学習成果の査定は厳正に行われ、学期途中の評価と学生の授業評価により授業改善を図るとともに、GPA を導入し、学年末の学生指導に利用している。自己点検・評価の規程及び組織は明示され、その結果は公表されている。

学位授与の方針は学生生活ハンドブックやウェブサイトで公表している。教育課程編成・実施の方針は学位授与の方針に対応して明示され、基礎教育科目と各学科の専門教育科目により、豊かな人間性と専門性を身に付けた有為な人材の育成を目指している。入学受け入れの方針は学生募集要項とウェブサイトで明示されている。学習成果の評価として、資格を生かした専門職への就職を重視し、就職先及び卒業生へのアンケート調査を行う卒業後評価も実施している。学生の指導・支援はクラス担当教員が中心に行い、学生の学力差に対応するための個別指導と進路支援は、各学科の教員が連携して行っている。

各学科の教員組織は短期大学設置基準を満たし、教育課程編成・実施の方針に基づき整備されている。教員の採用・昇任は規程に基づいて行われている。専任教員の研究活動及び社会貢献活動はウェブサイトで公表されている。事務組織は整備され、教職員が連携して業務を行っている。人事管理の諸規程は整備されている。校地、校舎面積は短期大学設置基準を満たしており、各教室、機器・備品は教育課程に応じて適正に配置されている。

固定資産及び物品管理に係る諸規程は整備され、維持管理は適切に行われている。防災管理規程が整備され、点検や防災訓練が行われている。学内無線 LAN、授業用のファイルサーバーや WEB メールシステムなどの情報関連設備は、授業や学生支援等に活用されている。財務については、資金収支が改善されたことにより、財務状況は健全化している。また、財務の健全化を維持するため、平成 25 年度～29 年度の中期経営計画を策定している。基盤となる学生募集については、国外の留学生を含め積極的な募集活動に努めている。

理事長は学長を兼任し、建学の精神及び教育理念・目的を理解するとともに、財務内容を改善させて学校経営の安定化を実現するなど学校法人の運営全般にリーダーシップを発揮している。また、学長の選考は適切に行われ、教育研究などの教学に関する重要事項を含め、当該短期大学の運営全般にもリーダーシップを発揮し、教育の質の向上と当該短期大学の向上・充実のために努力している。学外においても多方面の社会的活動を行っている。理事会は理事長のリーダーシップの下、法令を順守して、学校法人の円滑な運営を行っており、今後の学校運営において重要な学内外の情報収集に努めている。監事は学校法人の業務や財産の状況について、理事長、事務局長、学生部長と意見交換し、理事会及び評議員会において監査報告を行っており、適切な監査機能を有している。評議員と理事は寄附行為で定められた人数で構成され、評議員の数は理事定数の 2 倍を超えており、評議員会は理事長の諮問機関として適切に運営されている。学校法人及び当該短期大学は、中期経営計画（平成 25 年度～29 年度）に基づき毎年度の事業計画と予算を決定している。情報公開に関する規程が整備され、教育情報・財務情報を適切に公開している。

2. 三つの意見

本協会の評価のねらいは、短期大学教育の継続的な質保証を図り、短期大学の主体的な改革・改善を支援することにある。そのため、本協会では、短期大学評価基準に従って判定される前述の「機関別評価結果」や後述の「基準別評価結果」に加えて、当該短期大学の個性を尊重し、その向上・充実を図る観点から以下の見解を持つ。

（1）特に優れた試みと評価できる事項

本協会は当該短期大学の以下の事項について、高等教育機関として短期大学が有すべき水準に照らし、優れた成果をあげている試みや特長的な試みと考える。

基準Ⅰ 建学の精神と教育の効果

[テーマ B 教育の効果]

- 例年、取得した免許・資格を生かした、高い専門職への就職率を維持している。当該短期大学が追跡調査を行った結果、卒業生の離職率も、大分県平均に比べて大変低い値となっている。

基準Ⅱ 教育課程と学生支援

[テーマ B 学生支援]

- 外国人留学生の支援体制が確立している。日本での生活を円滑に行うためのガイダン

スや留学生クラス担当の教員を配置するなどして、学習面、生活面の支援体制を整えている。奨学金や学生寮の支援体制も整備している。

- 教職員と学生の緊密なコミュニケーションを基盤にしたきめ細かな支援と指導が行われ、卒業生や地域から高い評価を得ている。また、卒業生からの相談を適宜受けるだけでなく、離職者に対しても再就職の相談に応じるなど、卒業生のフォローアップも丁寧に行われている。
- 学生が学内 LAN を利用して、履修登録、成績、資格・免許科目修得状況の確認、授業評価等を行うデジタルキャンパスシステムを導入している。

基準Ⅲ 教育資源と財的資源

[テーマ B 物的資源]

- 図書室に「絵本のひろば」の特設コーナーを設置して、地域に住む親子が利用しやすい環境を整備するとともに、別府の特色である温泉を利用した温泉プール（日本水泳連盟公認）を設置し、地域に開放している。

基準Ⅳ リーダーシップとガバナンス

[テーマ A 理事長のリーダーシップ]

- 理事長は、海外の高等教育機関との単位互換及びダブルディグリーの協定を結ぶなど、国際交流にリーダーシップを発揮している。

(2) 向上・充実のための課題

本協会は以下に示す事項について、当該短期大学が改善を図り、その教育研究活動などの更なる向上・充実に努めることを期待する。なお、本欄の記載事項は、各基準の評価結果（合・否）と連動するものではない。

基準Ⅰ 建学の精神と教育の効果

[テーマ C 自己点検・評価]

- 自己点検・評価活動について、自己点検・評価委員会と「ALO 委員会」を設置しているが、自己点検・評価が効果的に行われるよう、その役割分担などを整備されたい。

[テーマ B 学生支援]

- ウェブサイトで公表しているシラバスにおいて、記述内容に不備が散見されるので、改善されたい。

(3) 早急に改善を要すると判断される事項

以下に示す事項は、問題・課題などが深刻であり、速やかな対応が望まれる。

なし

3. 基準別評価結果

以下に、各基準の評価結果（合・否）及び当該基準を合又は否と判定するに至った事由を示す。

基準	評価結果
基準Ⅰ 建学の精神と教育の効果	合
基準Ⅱ 教育課程と学生支援	合
基準Ⅲ 教育資源と財的資源	合
基準Ⅳ リーダーシップとガバナンス	合

各基準の評価

基準Ⅰ 建学の精神と教育の効果

「自立・自活できる人材の育成」という建学の精神は学生生活ハンドブック等に明記され、学外には大学案内やウェブサイト等で、学内には入学式や学園行事「頌徳式」等で全学に周知されている。また、建学の精神は溝部スピリッツ（三活動・五心）と称して、分かりやすく共有する工夫もなされている。年度末には「卒業生の意識調査」（アンケート）で学生の建学の精神の理解度を測定・評価し、その結果を翌年度の教育活動に生かしている。

各学科の教育目的は、建学の精神に基づいて定められ、学則に明記されている。各学科の教育目標は、ライフデザイン総合学科、食物栄養学科、幼児教育学科、介護福祉学科の学科特性に応じて高める専門性や取得できる資格を明確にする内容になっている。これらは学生生活ハンドブックやウェブサイト等で学内外に周知され、毎年、教育目的や目標の妥当性について検討がなされている。

学習成果は、建学の精神や各学科の専門教育科目の修得により取得できる資格として定め、大学案内や学生生活ハンドブック等で明示されている。多様な基礎教育科目を提供して、幅広い教養と豊かな人間性を身に付けた人材を育成している。学習成果を発表するため、各学科で地域に開かれたファッションショー、お弁当コンテスト、子どものためのミュージックカーニバル等の機会を持っている。学習成果の指標である就職率は毎年非常に高く、地域のニーズに応じている。学習成果は教学委員会が中心となって情報収集と分析を行い、教育課程の改善を図っている。

短期大学設置基準や関係法令に基づき、学習成果の査定において、到達目標の明確化、心豊かな人間性を重視した総合評価、公正・公平な評価を行い教育の質を保証している。小テストやレポート等による学期途中の評価や学生による授業評価をシラバスや授業改善に生かすとともに、学期末にはGPAを学生指導に活用している。

自己点検・評価の規程及び組織が効果的に機能していくために、自己点検・評価委員会とALO委員会のそれぞれが果たす役割をより明確にした運営が望まれる。

基準Ⅱ 教育課程と学生支援

各学科は建学の精神に基づいて学位授与の方針を示し、学生生活ハンドブックとウェブ

サイトに公表している。また、各学科は教育課程編成・実施の方針を示し、基礎教育科目と各学科の専門教育科目により、幅広い教養と豊かな人間性を持ち、専門的知識と実践力を身に付けた有為な人材の育成を目指している。

入学者受け入れの方針は、全学共通事項と各学科の事項を学生募集要項とウェブサイトにて明示するとともに、入学後に各学科・コースで取得可能な資格を一覧にして示している。学生募集要項には各入学試験における出願資格及び入学試験の区分ごとの募集人員が明記されている。学習成果は、学習内容・学習形態・到達度等に応じて適切に評価されている。学習成果の具体的な指針として、4 学科とも専門資格を取得して専門職に就くことを重視しており、学習成果の査定基準は明確である。なお、ウェブサイト掲載のシラバスには、記述上の不備がみられるので改善されたい。進路先からの評価を得るため、就職先の企業主及び卒業生にアンケート調査を行って分析している。また、教員が就職開拓を兼ねて企業訪問をした際に、卒業生の評価について担当者から聞き取りを行っている。

学生の指導・支援はクラス担当教員を中心に行われ、教員が事務的職務を兼務するなど、学習成果の獲得に向けて教育資源を有効に活用している。一方で各教員の負担過重については、研究活動等への支障がないよう検討されたい。学生は学内無線 LAN を利用でき、教職員用の授業用のファイルサーバーや WEB メールシステムが構築されており、授業や学生支援、学園の運営に活用されている。学生の学力差に対応するため学科ごとに基礎教育科目を設定したり、授業時間外に個別指導を行ったりして、学習成果の獲得に向けた学習支援を各学科の教員が連携して行っている。留学生には、日本語力の向上のための補講を行っている。学習成果の獲得に向けたキャンパス・アメニティはおおむね整っており、学生生活の支援を各学科の教員が連携して行っている。短期大学独自の奨学生制度や留学生への経済的支援も整っている。

進路支援は、各学科の教員で構成される就職指導課を中心に教職員が連携して行われている。就職のガイダンスや就職試験対策等の支援について全学共通プログラムと学科別プログラムがあり、学科の特性に応じた支援によって高い就職率を維持している。

基準Ⅲ 教育資源と財的資源

各学科の教員組織は短期大学設置基準を満たし、教育課程編成・実施の方針に基づいて整備されている。教員の採用・昇任は、「学校法人溝部学園教職員選考規程」及び「学校法人溝部学園任期制専任教員の任用に関する規程」に基づいて行われている。教職員と学生の緊密なコミュニケーションに基づくきめ細かな支援と指導が行われている。

専任教員は学科の教育課程編成・実施の方針に基づいて教育活動を行い、論文発表・学会活動等の教育研究活動及び社会貢献活動の結果はウェブサイトで公表されている。また、教育研究経費の予算確保、教員研究室の個室化、研究時間の確保等について一定の改善がみられるが、更に教員の教育研究環境の整備に努力されたい。FD 活動に関する規程として FD・SD 委員会規程を定め、全学及び学科単位で FD 研修を企画・実施して、教員としての資質の向上を図っている。

事務組織は法人事務局と短期大学の学生部に編成され、教員が事務組織の管理職を担うことで、事務組織と教学組織を一体化した運営がなされている。教職員の人事管理を行う

ための諸規程は学内 LAN のサーバー上にいつでも確認できるよう整備されている。事務職員は、研修委員会が企画する SD 活動に参加するとともに、学外の研修会等にも参加し、業務の向上を図っている。

校地、校舎面積は短期大学設置基準を満たし、運動場や体育館も十分な広さを有している。講義室、演習室、実験・実習室は学科の教育課程に応じて配置されている。各教室の機器・備品は適正に配置されている。

固定資産及び物品管理に係る規程等の諸規程は整備され、施設設備の維持管理が適切に行われている。防災管理規程が整備され、点検や防災訓練が計画的に行われている。校舎の耐震補強については、耐震診断と並行して平成 24 年度から順次、耐震補強工事がなされている。情報管理については、外部からの不正アクセスなど、ネットワークの異常に速やかに対応できる情報セキュリティ体制を構築している。

各教室にコンピュータを利用した映写設備が整備されている。パソコン教室・マルチメディア教室・アクティブラーニング演習室・栄養指導実習室・図書室等に学内 LAN を設置するとともに、全学科の学生が情報処理系の授業を受講し、コンピュータ利用技術の向上・充実を図っている。学内 LAN を有効活用して、履修登録、成績の確認、資格・免許科目修得状況、授業評価等を行うデジタルキャンパスのシステムを導入し、学生の利便性の向上に努めている。

資金収支は学校法人の経営努力により改善され、財務状況は比較的安定している。財政上の安定を確保するため、平成 25 年度～29 年度の中期経営計画を策定している。施設設備の将来計画については、平成 26 年度の事業計画書を踏まえ、財務計画の適切な履行に努力している。

基準Ⅳ リーダーシップとガバナンス

理事長は建学の精神及び教育理念・目的を理解し、財務内容を改善させて学校経営の安定化を実現するなど、学園発展のために学校法人の運営全般にリーダーシップを発揮している。現在、5 か年の中期経営計画（平成 25 年度～29 年度）の達成に努力している。地域貢献として「おんせん県おおいた」の中核都市である別府市との連携を強化し、「温泉コンシェルジュ」の養成や健康教室の共同開催など、学生の地域学習にも積極的に関与している。また、海外の高等教育機関との単位互換及びダブルディグリーの協定を結ぶなど、国際交流にもリーダーシップを発揮している。

学長は理事長が兼任しており、学則及び規程に基づいて教授会を招集してその議長となり、教育研究などの教学に関する重要事項を含め、短期大学の運営全般にリーダーシップを発揮している。また学園創立者の教育理念を継承し、溝部スピリッツ（三活動・五心）の精神の下で職業教育と豊かな人間性を持つ人材育成に努め、教育の質の向上と短期大学の発展・充実のために努力している。学外においても地域との連携を含め、積極的に多方面の社会的活動を行っている。学長の選考は、溝部学園短期大学学長選考規程により適切に行われている。

理事会は理事長のリーダーシップの下、法令を順守して、学校法人の円滑な運営を行っており、今後の学校運営において重要な学内外の情報収集に努めている。監事は理事会・

評議員会に出席し、学校法人の業務や財産の状況等について意見を述べるなど適切に業務を行っており、当該会計年度終了後 2 か月以内に監査報告書を作成して理事会及び評議員会に提出している。

評議員は、寄附行為に基づいて適正に選任され、評議員の数は理事定数の 2 倍を超えている。また、評議員会は理事長の諮問機関として適切に開催、運営されている。

学校法人及び当該短期大学は、5 か年の中期経営計画に基づき、毎年度の事業計画と予算を決定している。事業計画は中期経営計画実行委員会の意見を調整した上で、学校法人事務局が取りまとめている。予算は各部門の意見を聴取した上で原案を策定し、評議員会の意見を聞いた上で理事会にて協議し承認している。また、私立学校法に基づいて情報公開規程が整備され、教育情報の公表と財務情報の公開が行われている。

選択的評価結果

本協会は、短期大学の個性を伸長させることを目的として、「教養教育の取り組み」、「職業教育の取り組み」、「地域貢献の取り組み」という三つの選択的評価基準を設けている。これらの三つの取り組みは4基準にも含まれているが、各短期大学の取り組みの特色がより鮮明になるよう、4基準とは別に設定した。

選択的評価は個々の短期大学の希望に応じて実施し、課外活動も含め、それぞれの独自性が一層発揮されるよう当該短期大学の取り組みの達成状況等について評価を行った。

職業教育の取り組みについて

総評

建学の精神「自立・自活できる人材の育成」を基本目的として、学則第1条に、「深く専門的な学術を研究するとともに、職業に必須の教育を授け、豊かな教育と優秀な技能とを有し、かつ極めてよき指導者として有為な人材を育成する」と明示し、職業教育の役割・機能、分担を明確に定めている。

教育課程には、幅広い教養と豊かな人間性を身に付けた職業人を育成するため、就職活動の方法や職業に必要な基礎知識等の基礎教育科目が開講されているほか、学科の特性を考慮した学科独自の講座も実施されている。

就業力向上を目指して「ジョブサポーター」による出張相談日の設置、就職セミナーなど各種イベント、企業関係者の招聘等を行っており、職業教育の実施体制が確立している。

併設高等学校との高大連携や県下の高等学校別ガイダンスを実施し、後期中等教育と接続している。各学科教員は学科の特色や就職・仕事内容等について出前説明会を実施し、進路決定を支援している。

介護福祉学科では、卒業し働き始めて間もない就業者を対象に OFF-JT（職場外研修）を実施している。在学生と就業者同士で就労の課題や改善策等について情報交換し、就労意欲の向上や就労継続力を育成するとともに、更なるキャリアアップを目指す卒業後教育としている。

職業教育の担当教員には、現場経験を持ち実務に精通した人物を採用し、学生の満足度を高めている。また、他の教員に新しい情報を提供して指導力の向上に役立てている。

就職率は毎年非常に高く、2年間で修得した資格・免許を生かした専門職への就職が大部分を占めている。卒業生に対する地域・企業の期待と評価は高く、就職先へのアンケートや就職先訪問の際に聞き取り調査を行って意見を収集し、分析・評価した結果を日々の教育活動に生かしている。

当該短期大学の特色が表れている取り組み

- オープンキャンパスで「仕事発見」をテーマとした日を設け、現場で働く卒業生を招聘して、現在の勤務実態について保護者を含めた参加者に説明している。
- 介護福祉学科で、卒業して間もない就業者を対象に OFF-JT（職場外研修）を実施し

ている。在學生と就業者同士の情報交換を行うことで様々な視点から現在の就労についての課題や改善策等を確認し、今後の就労の意欲向上や就労継続力を育成し図るとともに、更なるキャリアアップを目指している。

- 入学時から卒業時まで一貫した職業教育を行うため、担当教員だけでなく全教員で取り組んでいる。

地域貢献の取り組みについて

総評

「開かれた大学となる」という理念の下で、短期大学の知的財産と教員の専門性を生かしながら、地域文化の向上や地域社会の活性化に資することを旨とした様々な取り組みが意欲的に実施されている。平成 25 年度からは文部科学省「成長分野等における中核的専門人材養成の戦略的推進事業」における「おんせん県おおいた別府型・ドリームプロジェクト」として平成 27 年度から食物栄養学科に「温泉コンシェルジュ」コースを設置するなど、行政等との共同事業にも積極的に取り組んでいる。

各学科の特徴を生かした各種の公開講座が設けられている。平成 25 年度には 11 講座が開講され、のべ 404 名が受講している。参加者が減少傾向にあるという課題はみられるものの、関係団体と共同開催したり、大学以外の開催場所を設けたりするなど、現状の改善に努力している。

留学生が多いという当該短期大学の特色を生かした、地域社会との交流活動が盛んである。留学生が地域の文化に触れるとともに、母国の文化を伝承するという双方向の国際理解の行事が実施され、学生も地域の住民も多くの行事に参加して交流を深めている。短期大学が企画・主催する行事だけでなく、各学科においても、地域や関係団体主催の活動や行事での造形作品の展示（ライフデザイン総合学科）、伝承食を伝える啓発活動（食物栄養学科）、学術大会等における子どもの一時預かり（幼児教育学科）など、各学科の特徴を生かした取り組みがみられる。

当該短期大学の特色が表れている取り組み

- 「温泉コンシェルジュ」の養成など行政等との協働によって、地域社会の活性化に向けた取り組みが積極的に行われている。また、留学生が多いという特色を生かし、地域社会と留学生との交流活動が盛んで、留学生が日本の文化を学び、さらに母国の文化を発信するという双方向の国際交流が実現している。